
煙草を煮る

千迅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

煙草を煮る

【Nコード】

N0261F

【作者名】

千迅

【あらすじ】

女の子が夕食後に煙草を煮る話。 20080908投稿。

煙草を煮る。

ぐつぐつと煮立つ烏龍茶みたいな煮汁を割箸で掻きまわす。

葉っぱやフィルターがグシャグシャになって割箸に付く。今になつて分解して葉っぱだけ入れればよかったと後悔する。でも、いつもそうだから本当に後悔することはあんまりない。

右手に割箸、左手に煙草、目の前でぐつぐつと煮立っている鍋。

自殺するなら親も寝静まった夜中だろ。なんで、夕食が終わって、家族団欒でテレビ見て笑ってる声ん聞きながら、と思ったけど、思い立ったのが夕食を食べたあとだったので仕方ない。

母親の笑ってる声を聞いて悲しくなる。娘が自殺するために煙草をコトコト煮込んでるのに母さんは気付かず笑ってんのか、と責めたくなる。

とりあえず、なにかもがシャクに障って腹立だしくて悲しい。これは全部慎吾さんのせいだ。

慎吾さんが好きだから煙草はいけないと注意したのに、関係ないって。関係なくはない。私は、慎吾さんの後輩で、マネージャーで、あと、なんだろう。とりあえず、関係なくはない。

普段、吸おうとも思わない煙草の煙を肺いっぱいに含ませて、吐き出す。咳き込むかと思ったら案外普通で、慎吾さんも吸えるわけだと思った。でも、煙が目染みて涙が出た。

私と慎吾さんの関係が2つしか思いつけない自分が腹立だしい。ドキドキしながらコンビで慎吾さんと同じ銘柄の煙草を買って、少し興奮して帰ったのが馬鹿らしく感じる。

慎吾さんと同じ銘柄の煙草で自殺するのがとても素敵だと思い付いた自分の考えも馬鹿らしい。

ついに換気が負け、台所いっぱいに異臭が漂う。鍋の中にも19本のフィルターと茶色く染まった紙が漂っている。それをコーヒーフィルターで濾過して、ペットボトルに入れた。

烏龍茶よりも濃い茶色。

体に凄く悪い物質が含まれているだろう茶色。

慎吾さんの肺もこんな色なんだろうか。そう思ったら、それが少し愛しくなった。

20080908

(でも、いつもそうだから本当に後悔することはあんまりない。)

（後書き）

最後まで読んで下さってありがとうございます。
誤字・脱字など、なにかありましたら評価やコメントにて教えて下さると嬉しいです。

検索ワードがネタバレしていますね。あわわ。

20080908 千迅

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0261f/>

煙草を煮る

2010年12月3日14時07分発行